

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2003-338780(P2003-338780A)

【公開日】平成15年11月28日(2003.11.28)

【出願番号】特願2003-111250(P2003-111250)

【国際特許分類】

H 04B 7/005 (2006.01)

H 04B 3/06 (2006.01)

【F I】

H 04B 7/005

H 04B 3/06 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月28日(2006.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

図1は、ADC30の前段に位置する電力正規化ブロック20を示す。電力正規化20は、アナログAGCによって行うことができる。図1のシステム100では、電力正規化信号(電力正規化ブロック20の出力)は次にADC30によってデジタル化され、適応トランスバーサル・フィルタ40の入力に印加される。式1は、入力データおよび係数ベクトルが与えられたときのトランスバーサル・フィルタ40の信号処理を規定する。適応トランスバーサル・フィルタ40の出力は、2つの経路、信号経路および制御経路に分離する。信号経路出力は、元のデータ変調に用いた手法の逆を表すように、復調ブロック70によって復調される。復調の後、元の変調信号が何らかの形でエンコードされていた場合、復調信号のデコードも行う場合がある。復調器70の出力は、復元された対象データ信号となる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

【発明の実施の形態】

式1、3、および4を式5ないし式7と共に用いることによって、本発明のモード制御ブラインド適応トランスバーサル・フィルタの数学的基礎が得られる。図2Aは、本発明の一実施形態のブロック図である。図2Bは、本発明の別の実施形態のブロック図である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

【数5】

$$w_g(k+1) = w_g(k) - \mu e_{cm}(k) x_g^*(k) \quad \text{式 5}$$

ここで、 w 、 μ 、 $e_{cm}(k)$ および $x(k)$ は定義済みである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

【数6】

$$w_h(k+1) = w_h(k) - \mu e_{vm}(k) x_h^*(k) \quad \text{式 6}$$

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

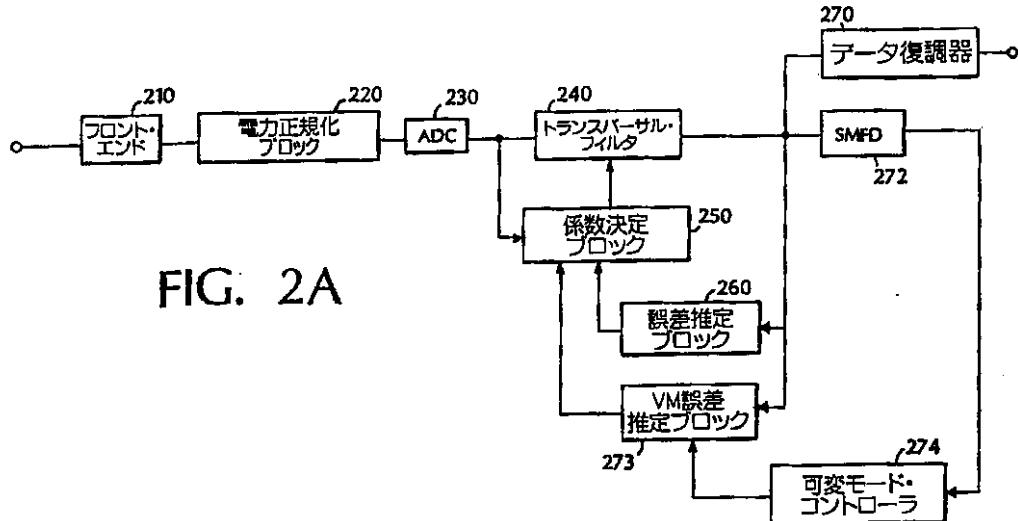


FIG. 2B

